

34 良性卵巣腫瘍患者に対する術後5日以内の退院率

指標の解説

- 卵巣嚢腫の治療において、腹腔鏡下手術は開腹手術と比較すると術後の疼痛や発熱が少なく、入院期間が開腹手術より2.88日短いという報告がある。(産婦人科内視鏡手術ガイドラインより)
- 当該指標の割合が高ければ、入院期間が短縮され、結果として患者への負担の減少に貢献していると評価できる。

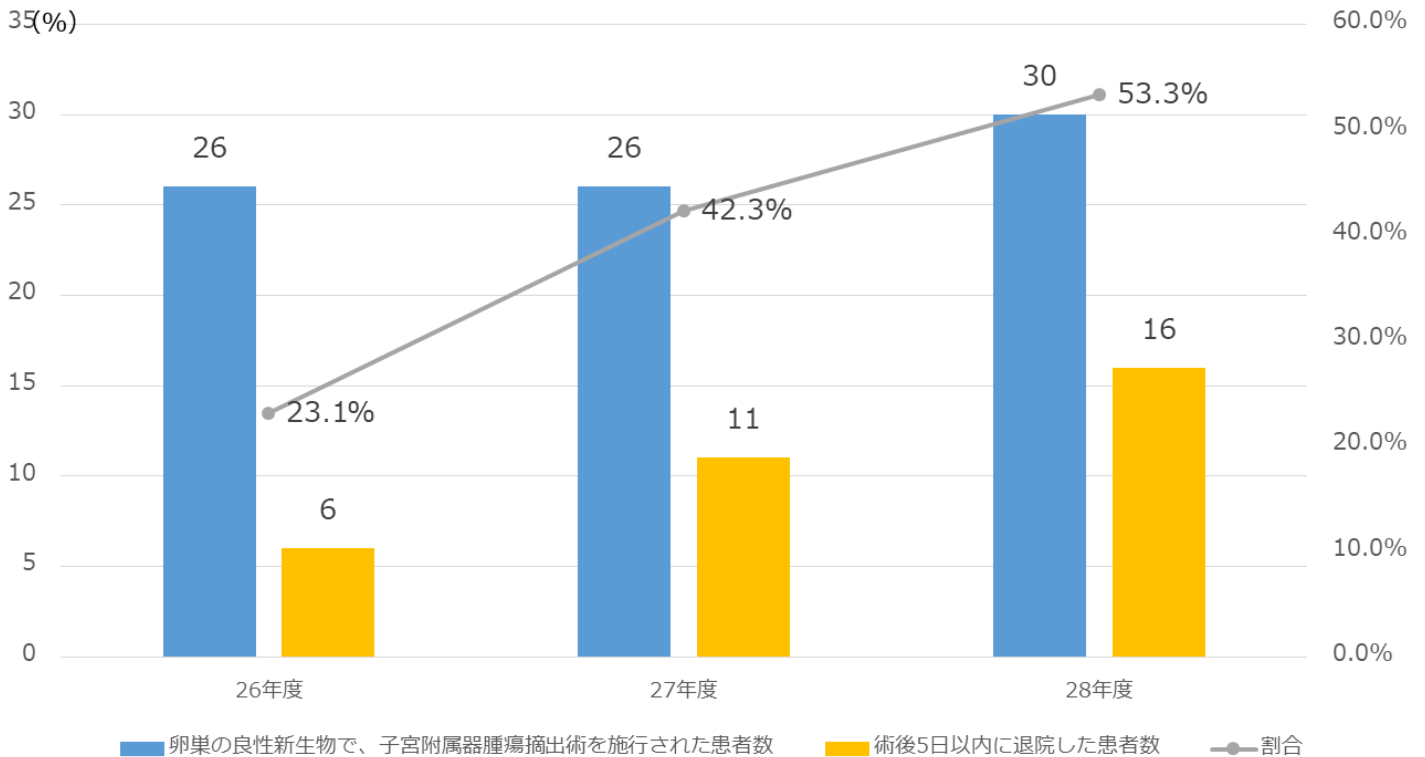
分子: 術後5日以内に退院した患者数

分母: 卵巣の良性新生物で、卵巣部分切除術(腔式を含む)または子宮附属器腫瘍摘出術を施行された患者数

参考値: 24.9%

分子: 分母のうち、5日以内に退院した患者数
分母: 卵巣の良性新生物で、卵巣部分切除術(腔式を含む)または子宮附属器腫瘍摘出術を施行された患者数

(引用元: 「国立病院機構 臨床評価指標Ver.3 2016」 2015年平均値)



当院においては、腹腔鏡下手術を開始した平成26年度以降、術後5日以内の退院率が大きく上昇しており、患者のQOL早期向上への取組が数字に表れた結果となっている。